

発行所／著 七民社
編集人 仲村良子 発行人 川崎久
編集部 〒100 東京都千代田区千代田
31 茨橋ビル内(郵便番号160)
電話 03(382) 0149 / 振替
東京 162856 番(宛先共産党)
編集委員会 関西支
社 本社電話 06(312) 8263

**第2回南部・神奈川
労働者討論会**
日時 5月31日(土)午後6時
場所 品川文化会館第5会議室
第3回労研集会(関西)
日時 5月24日(土)午後3時
場所 尼崎労働者社会館

共産同政治集會に結集せよ!

7・5 大阪	7・1 東京
基調 佐藤 哲	基調 立花 薫
発言 神津 陽	発言 三上 治
天皇制・部落・沖縄闘争と 我々の立場	天皇制・部落・沖縄闘争と 我々の立場
開場 / 5時 中之島公会堂 3F (京阪・地下鉄・ 淀屋橋駅5分)	開場 / 5時半 大田区民センター 大ホール (蒲田駅西口7分)

戦後革命運動の 転生の指標は何か

国家の構造と構成の現段階

規範的国家の肥大化と共同幻想の位相

国家の構造と構成の現段階、規範的国家の肥大化と共同幻想の位相、これは、戦後革命運動の転生の指標を問うという問いに、まず第一に答えるべきであろう。

国家とは、一定の領土と人口を有する、主権を行使する政治共同体である。しかし、戦後の国家は、従来の国家とは異なり、その構造と構成が大きく変化した。それは、国際社会の多極化と経済のグローバル化、そして国内社会の多文化化と階級社会の解体によるものである。

この変革の中で、国家の規範的な機能、すなわち主権の行使や領土の維持は、依然として重要な役割を果たしている。しかし、同時に、国家の肥大化、すなわち領土の拡大や勢力の増進は、国際社会全体の不安定をもたらしている。これは、冷戦後の「共同幻想」の崩壊と、国際関係の緊張化を導いている。

このような状況の中で、戦後革命運動の転生の指標は何か、と問うことは、国家の構造と構成の現段階を深く理解する必要がある。それは、国家の規範的な機能と肥大化の両方を批判的に検証し、新しい政治的展望を開くことにある。

階級闘争の現実的マチエール

課題・組織・運動の回転

階級闘争の現実的マチエール、これは、戦後革命運動の転生の指標を問うという問いに、次に答えるべきであろう。階級闘争とは、社会の異なる階級間で利益を争うことを指す。これは、戦後の社会では、労働者と資本家、学生と企業、市民と政府など、さまざまな形で展開している。

この階級闘争の現実的マチエールは、課題、組織、運動の3つの要素から構成されている。課題とは、階級間の利益衝突を解消するための政治的課題である。組織とは、階級闘争を遂行するための政治的組織である。運動とは、階級闘争を実現するための政治的運動である。

これら3つの要素が互いに影響を及ぼし合うことで、階級闘争の現実的マチエールが形成される。課題の明確化が組織の構築を促し、組織の構築が運動の展開を促す。運動の展開が課題の明確化を促し、運動の展開が組織の構築を促す。このような循環的な関係が、階級闘争の現実的マチエールを形成する。

したがって、戦後革命運動の転生の指標は、階級闘争の現実的マチエールの形成にある。それは、課題、組織、運動の3つの要素を有機的に結合し、階級間の利益衝突を解消するための政治的展望を開くことにある。

時代の転形過程を権力闘争の再生へ!

国家・大衆・党派の交容と戦闘の展望

国家、大衆、党派の交容と戦闘の展望、これは、戦後革命運動の転生の指標を問うという問いに、次に答えるべきであろう。国家、大衆、党派の交容とは、国家の規範的な機能と肥大化の両方を批判的に検証し、新しい政治的展望を開くことにある。

戦後の国家は、従来の国家とは異なり、その構造と構成が大きく変化した。それは、国際社会の多極化と経済のグローバル化、そして国内社会の多文化化と階級社会の解体によるものである。この変革の中で、国家の規範的な機能と肥大化の両方を批判的に検証し、新しい政治的展望を開くことにある。

したがって、戦後革命運動の転生の指標は、国家、大衆、党派の交容にある。それは、国家の規範的な機能と肥大化の両方を批判的に検証し、新しい政治的展望を開くことにある。

戦後革命運動の転生の指標は何か、と問うことは、国家の構造と構成の現段階を深く理解する必要がある。それは、国家の規範的な機能と肥大化の両方を批判的に検証し、新しい政治的展望を開くことにある。

階級闘争の現実的マチエール、これは、戦後革命運動の転生の指標を問うという問いに、次に答えるべきであろう。階級闘争とは、社会の異なる階級間で利益を争うことを指す。

国家、大衆、党派の交容と戦闘の展望、これは、戦後革命運動の転生の指標を問うという問いに、次に答えるべきであろう。国家、大衆、党派の交容とは、国家の規範的な機能と肥大化の両方を批判的に検証し、新しい政治的展望を開くことにある。

スケジユール

首都圏	第二回南部・神奈川 労働者討論会
日時 / 5月31日(土)午後6時	場所 / 品川文化会館(第5会議室)
青学大反帝戦線政治集會	日時 / 5月28日(水)5時
場所 / 青山学院大学一・五教室	
明学大反帝戦線政治集會	日時 / 5月29日(木)1時
場所 / 明治学院大学	
関西	第三回労研集會
日時 / 5月24日(土)午後3時	場所 / 尼崎労働者社会館

戦後革命運動の転生の指標は何か、と問うことは、国家の構造と構成の現段階を深く理解する必要がある。それは、国家の規範的な機能と肥大化の両方を批判的に検証し、新しい政治的展望を開くことにある。

階級闘争の現実的マチエール、これは、戦後革命運動の転生の指標を問うという問いに、次に答えるべきであろう。階級闘争とは、社会の異なる階級間で利益を争うことを指す。

光文社闘争の現況と

支援を巡る課題

——反帝戦線光文社闘争班——

講談社包囲闘争の局面と

〈当該支援〉

光文社闘争の現況は、講談社包囲闘争の進展と共に、ますます複雑化・深刻化を来している。講談社の包囲闘争は、反帝戦線光文社闘争班の支援を巡る課題を、ますます鋭く突きつけて来ている。この課題を、如何に解決し、如何に支援を進めようか、これが、光文社闘争の現況と、支援を巡る課題である。この課題を、如何に解決し、如何に支援を進めようか、これが、光文社闘争の現況と、支援を巡る課題である。

講談社の包囲闘争は、反帝戦線光文社闘争班の支援を巡る課題を、ますます鋭く突きつけて来ている。この課題を、如何に解決し、如何に支援を進めようか、これが、光文社闘争の現況と、支援を巡る課題である。この課題を、如何に解決し、如何に支援を進めようか、これが、光文社闘争の現況と、支援を巡る課題である。

ある中心メンバーの戦線離脱とその波紋について

ある中心メンバーの戦線離脱とその波紋について

6. 14早大判闘争小括

6. 14早大闘争被告今西崇男

権力による断罪の論理

権力による断罪の論理

早大判闘争の課題

早大判闘争の課題

早大判闘争の課題

旗

第10号

JUN. 1975

B5版 / 予価 800

政治表現の隘路を突く
——言葉、運動、紛争の戦場——
——立花 寛——
日本国家と通制の共同性
——藤野 野矢——
一戦後平和と人権問題
——藤野 野矢——
内面的な現在
——藤野 野矢——